

## ヘルスサポート事業における今後の支援のあり方について

### 1. 運営委員会における今後の検討事項

#### 第2期データヘルス計画策定に向けての支援

- 市町村国保、国保組合、広域連合(以下、「保険者等」という)が第2期データヘルス計画策定に向けて、第1期データヘルス計画の振り返り、第2期データヘルス計画策定のためのサポートシート(以下、「サポートシート」という)を作成し、配布する。
- サポートシートをもとに、保険者等は1期データヘルス計画の計画期間が終了するにあたり、保険者等が実施した個別保健事業が第1期計画に基づき実行されたか、第1期計画で設定された目的・目標が達成されたかを確認する。
- 保険者等からサポートシートを回収し、保険者等における**第1期データヘルス計画の振り返りの状況、第2期計画に盛り込んだ内容(見直した内容等を含む)**を確認し、第1期計画の評価結果を第2期計画にどのようにつなげたかについて確認する。
- これらを踏まえ、データヘルス計画を策定したことの効果、PDCA サイクルに沿った保健事業となっているかについて評価し、第2期に向けての視点を整理していく。

#### 個別保健事業を円滑に進めるための仕組みの検討

- ヘルスサポート事業の中で、支援・評価委員の助言により、保険者等は新たな気付きを得て、個別保健事業を進めるにあたっての不明点の解消や課題解決につなげることができた。
- 支援・評価委員会の委員の助言に資するよう、全国各地で取組まれている保健事業の様々な工夫点やノウハウを蓄積し、提供する等、個別保健事業が円滑に実施されることを後押しする仕組みの検討が必要である。
- 平成29年7月27日開催の「第11回 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業運営委員会ワーキンググループ」にて個別保健事業を円滑に進めるためのポイントとして以下の意見があげられた。

支援・評価委員会の支援のモデル化(標準化)

保健事業(特定健診実施率向上等)を共通して取り組んでいる保険者をグループ化しての支援  
保健事業の類型化(類型化するにあたって、支援・評価委員会と専門家のコラボ)

支援のスタイルを講義型から参加型に移行(人材の育成や都道府県(保健所)との連携)

セグメントを切った重点的なポピュレーションアプローチへの支援

事務局機能の強化(ネットワークを生かした様々な情報収集や支援実施前の情報収集等)

## 2. 具体的な進め方

第1期データヘルス計画の振り返りと第2期データヘルス計画策定のためのサポートシート配布、サポートシートを回収し、評価を実施

- 市町村国保、国保組合、広域連合に策定した第1期データヘルス計画の振り返り、第2期に向けての見直し内容等を把握するため、サポートシートを回収し、確認を行う。

時期	実施事項
平成 29 年度	「第2期データヘルス計画策定のためのサポートシート」作成、配布 国保・後期高齢者ヘルスサポートガイドライン改訂
平成 30 年度	「サポートシート」の内容確認、結果の考察

個別保健事業を円滑に進めるための仕組みの検討

- 各都道府県の支援・評価委員会が保険者等における個別保健事業を助言・支援するにあたり、効果的と思われる仕組み等を平成 29、30 年度に検討する。